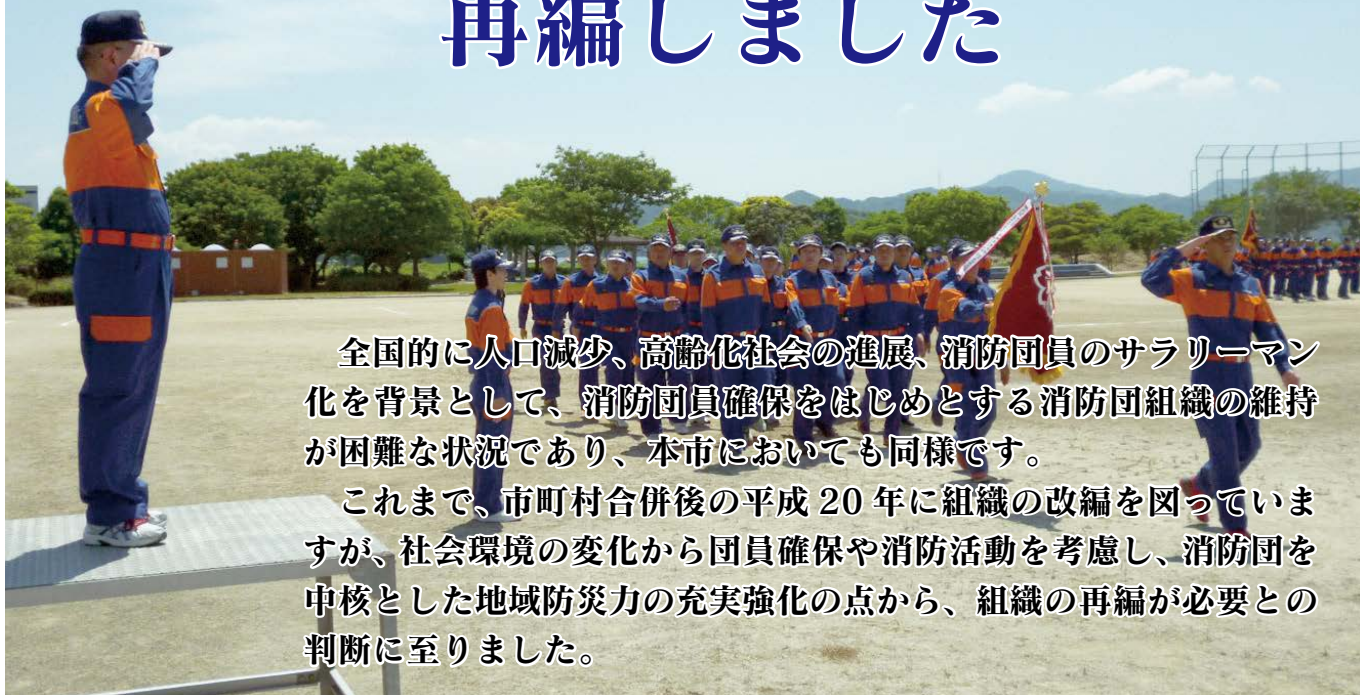


特集 2

松浦市消防団を 再編しました



全国的に人口減少、高齢化社会の進展、消防団員のサラリーマン化を背景として、消防団員確保をはじめとする消防団組織の維持が困難な状況であり、本市においても同様です。

これまで、市町村合併後の平成20年に組織の改編を図っていますが、社会環境の変化から団員確保や消防活動を考慮し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化の点から、組織の再編が必要との判断に至りました。

【松浦市消防団再編経緯】

①概要

再編の概要は、次の通りです。

本部・志佐地区と上志佐地区を統合する。

分団・1分団あたり40人から50人を目指す。

・部長は2人体制とする。ただし離島の飛島、黒島を含む分団は3人とする。

・班長1人あたり団員を3人から4人とする。

・統合時の管轄区域及び分団名称の変更

・平成29年度から開始した。

・年5回の本部会、年2回の分団長会及び各分団間で協議を重ねた。

②機能別消防団員制度の導入
団員のサラリーマン化により、昼間の火災時に出勤可能な団員が少ない場合があり、これに対応するため、また、近年の火災減少、団員の若年化により経験不足の団員を補助することを目的として、退団した消防団員を対象に機能別団員として確保することとしました。

③再編後の組織（平成31年4月1日）
7本部、23分団 団員数782人
機能別団員数64人 合計846人

【消防団員の活動内容】

①災害活動

火災時は、消防団詰所に集合して消防車にて現場へ急行し消火活動に当たります。

また、台風や豪雨時には住民の避難誘導、河川警戒や浸水箇所への土嚢積等を行います。

②教育訓練

消防団員としての知識と技術向上のため、消防学校において階級に応じた教育訓練を行います。

また、各種災害時の活動に備えて継続的に訓練を行っており、全体的な訓練は年1回各地区で実施しています。訓練内容は、礼式訓練、ホース延長訓練、ポンプ等の機械器具取扱訓練です。

これとは別に、各分団単位で毎月機械器具等の点検や管轄区域内の消防水利の点検を行っています。



松浦市消防団を再編しました



③ 火災予防・広報活動

年2回、秋と春の火災予防運動週
間に各地区で防火パレードを実施
しています。

消防車両にて市内を回りながら、
火災予防を呼びかけ、保育所、幼稚
園を訪問して火災予防の普及啓発も
行っています。

年末には、12月26日から30日まで
の夜間、各分団の管轄区域内を巡回
する年末警戒を実施しています。



▲防火パレードの様子

④ ポンプ操法大会

消防活動の基本となる、長崎県消
防ポンプ操法大会へ出場しています。

これは2年に1回実施され、ポンプ
車の部と小型ポンプの部があり、松
浦市は両方に出場しており、出場
チームは、2月頃から8月中旬の県
大会まで訓練を行います。



▲ポンプ操法大会の様子

⑤ 消防出初式

毎年1月7日に松浦市消防出初式
を挙行しており、市民への火災予防
意識の高揚と消防団員の士気向上の
ため、市中分列行進や車両パレード、
放水演習を行います。



▲消防出初式の様子

【問合せ先】

松浦市消防本部総務課

☎ 72-1211

松浦市消防団辞令交付式

松浦市消防団辞令交付式が4月14日、消防本部で
行われ、22人の新入団員が辞令を受けました。

第2分団の内野鉄也さんが新入団員宣誓を行い、谷
口哲男消防団長が「松浦市消防団として誇りと自覚
を持ち、市民の信頼に応え得る消防人として活躍す
ることを期待する」と訓示を述べました。

市の消防団員数は846人。火災や災害などから、
市民の生命や財産を守るために、日々訓練を重ね
ています。



第5代松浦市消防団長就任

谷口哲男さんが4月1日付けて第5代松浦市消防団
長に就任しました。

谷口さんは、昭和59年1月1日に松浦市消防団に入
団以来、第6分団長、本部分団長、副団長などを務め、
今回、松浦市消防団長に就任したものです。

谷口さんは「市民の生命・身体・財産を火災等の災
害から守るため、日ごろから予防消防に努め、『自分
たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛の精神
に基づき、災害時には常備消防と連携して消火や救
助活動に取り組みます。温故知新を念頭に置き、松浦
市消防団の伝統を重んじつつ、時代に合った消防団
をつくっていききたい」と話
しました。

